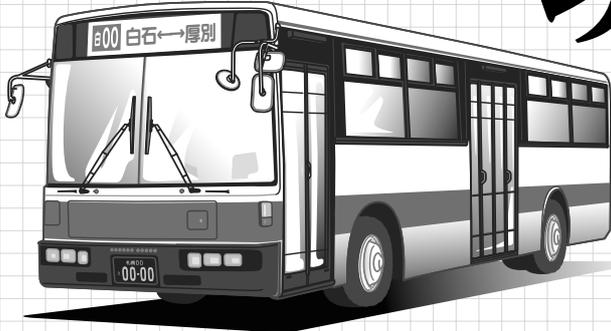


バス路線維持の 現状とこれから



白石区・厚別区のバス路線維持に向けた対応では、市民の皆さんに対する情報発信の不足や遅れにより、混乱を招いてしまいました。

今後は、スピード感を持って対応するとともに、積極的に情報を皆さんにお知らせしていきます。今月は、同路線を含む市内全域のバスネットワークの維持に向けた取り組みの現状をお伝えします。

このページの問い合わせは交通企画課 ☎211-2492へ

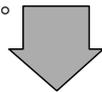
これまで

赤字により運行継続が 困難になった場合の解決策が不十分

平成14年に行われた改正道路運送法の施行、いわゆる規制緩和により、バス事業者は、路線の廃止を自由に行えるようになりました。そのため、仮に事業者が路線を廃止した場合は、後継事業者探しや代替輸送方法の検討などを自治体が行わなければならないこととなりました。

しかし、民間事業者の経営努力によってもなお、赤字で運行継続が難しくなった場合、料金を値上げするのか、便数を変更するのか、税金による補助を行うのかといった課題の解決策が十分に整備されていませんでした。

市は今回、市民の足を守るため、定められたルールに従って早急に後継事業者をジェイ・アール北海道バスに決定しましたが、それを取りやめた結果、同社や同社から受注した企業に損失が生じてしまいました。



これから

市内全域のバスネットワークを 維持するための枠組みをつくる

燃料代の値上がりや利用者の減少など、バス事業者を取り巻く厳しい状況を踏まえると、今後も、赤字によるバス路線の廃止は起こり得ることで、そのため、市では、民間事業者が、自主的に路線の運行を続けることが可能となる枠組みを確立するなど、地域の足であるバス路線を守るための方策について検討していきます。

ジェイ・アール北海道バスへの対応

平成20年7月に後継事業者をジェイ・アール北海道バスに決定した段階で、ジェイ・アール北海道バスは、新たな地域での運行に間に合わせようと、バス車両の購入や乗務員の募集などの準備を始めました。

しかし、8月に運行の予定を取りやめることになったため、既に発注したバス車両や運賃箱など約8億円分の支出への対応が必要になりました。この発注分について、解約や転売を行うなど、ジェイ・アール北海道バスや同社から受注した企業に多大な協力をいただいた結果、損失の補償額は4,968万9,549円となりました。

白石区・厚別区バス路線の継続問題とは

東・新川両営業所貸付の償化をめぐる協議が調わず、平成二十年六月、北海道中央バスは赤字となっている白石営業所管轄九路線の廃止届を北海道運輸局に提出しました。市は、後継事業者をジェイ・アール北海道バスに決定しま

したが、運行に税負担が必要となることや、それに対し市民の皆さんから厳しいご意見をいただいたこと、また、北海道中央バスから運行継続の話を聞いたこと、また、再度あらゆる可能性について検討を重ねました。

その結果、ジェイ・アール北海道バスに後継事業の引き受けを辞めていただくことを要請し、これに応じる旨の英断をいただきました。その後、北海道中央バスとあらためて協議し、引き続き同社が運行を継続することになりました。